



浦和美園駅から徒歩5分

〒336-0962
埼玉県さいたま市緑区下野田168-1
電話 048-299-1169
HP <https://www.matsubara-freeschool.space/>
E-mail matsubara.freeschool@gmail.com



● 松原学院
● フリースクール
● サポート校

居場所、そして成長の場。

教育方針

相互教育

年上からも年下からも、同級生からも、スタッフからも、ともに過ごす仲間からはたくさんの学びがあります。ともに学び、尊重し、高めあうのが松原学院です。

社会性の育成

社会性とは、人とトラブルなく過ごす力のことです。社会性が身につけば、他の人の魅力にたくさん気付くようになり、自分の魅力が分かるようになります。

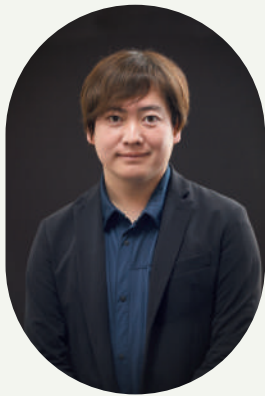
基礎学力の定着

進路や将来を考える上で必要な知識を学びます。今やりたいことが見つからないくても問題はありませぬ。見つかったときに目指すための基礎を身に着けます。

自由教育

自由教育とは、「自分のやりたいことを見つけ、それを心ゆくまで探求する」ための教育です。本学院を巣立っていくときに、学ぶことが楽しい。自分が好き。将来が楽しみだ。と胸を張って社会に出ていけるように、私たちは全力でサポートしていきます。そのために、日々の対話、コミュニケーションを大切に、生徒とも、保護者さんとも、たくさんお話をしていきたいと考えています。

顧問あいさつ



株式会社自由教育
代表取締役
豊田 毅

この度、松原学院フリースクール・サポート校の設立に関わらせていただくことになりました。私は東京都北区でフリースクール・サポート校である「滝野川高等学院」を2019年にオープンし、2025年で7年目となります。今は小学生33名、中学生21名、高校生16名の70名の生徒が滝野川高等学院で平日の日中の時間を過ごしています。フリースクールの良さはなんといっても、「自分のペースで学べること」、そして、「人間関係の苦しさが少ないこと」だと思っています。少人数の生徒に対して、しっかり大人の目が行き届くからこそ、トラブルは未然に防げるし、もし起こっても、すぐにスタッフが仲裁に入ることができます。そんな安心な居場所はフリースクールならではの、安心できる環境だからこそ、子どもはすくすくと育っていきます。今は多様性の時代、学び方はいくらでもあるはず、そのうちの選択肢の一つとして、私はフリースクールを推奨します。

松原学院フリースクール・サポート校は小中高生が自由で、楽しく過ごせる場所、成長できる場所です。代表の松原さんは学習塾を50年運営されたスーパー先生で、佐藤先生は本当に穏やかで優しく、頭の良い先生です。きっといつでも心強い味方になってくれるはずですよ。

フリースクール・サポート校を探されている方に、松原学院での学びを推奨します。きっと選んで後悔はないはずですよ。私も遊びに来ますので、お会いできた時は、一緒に遊んだり、勉強したりしましょうね。

本校の特徴

特徴1 長期的なサポートを受けられる

松原学院では小学部、中学部、高等部があるため、全校種の受験に対応しています。長期間での関わりは、スタッフと生徒がお互いへの理解を深めることにつながります。

特徴2 学習塾併用で生活リズムも学力もサポート

地元で50年の伝統と実績を誇る「和広塾」と連携し、フリースクールでの居場所と同時に各科目の学力アップも目指せます。まずは無理のないところから学習を開始できます。

特徴3 資格検定取得を強力サポート

英語検定や漢字検定など、各種検定を教室で受験することができます。検定は学年に関係なく、下の級から少しずつ上がっていけるため、「学びなおし」に最適です。

特徴4 英語やプログラム、体験学習などメニューが充実

実用的な英会話を学ぶことができます。他にも、プログラミングや、アクセサリー作り、ボードゲームなど、幅広い体験学習があり、フリースクール同士の交流もできます。また散歩や、ボール遊びなど、外での活動も充実させていきたいと考えています。「自分がやりたいこと」を提案してくれたら取り入れていくので、やりたいことをスタッフに話してみてください。

代表あいさつ



松原学院
フリースクール・
サポート校
代表
松原 和子

この度、豊田さんのご指導のもと松原学院フリースクール・サポート校を立ち上げさせて頂きました。川口市を中心に「和広塾」・「LEAD」という塾を8校展開し、ピーク時には400人の生徒が在籍し、中学校の定期テストでは、10位以内を当塾生9人が占めたこともありました。地域に根ざし、2024年をもちまして創立50周年を迎えることが出来ました。子ども一人ひとりの個性に合わせた教育・自身の成長を感じられる教育をモットーに塾を運営してきました。

その中でコロナを機に、塾の生徒の中でも学校に行けなくなってしまう子どもが増えてきました。テレビなどのメディアでも不登校の問題を目にすることが多くなり、そのような子どもたちに何か出来ないかと模索しているときに豊田さんと出会い、塾よりも子どものペースに合わせたサポートができるフリースクール・サポート校を立ち上げることとなりました。学力は当然必要ですが、人との関わり方がより重要だと感じています。学年を問わない子どもたち同士の関わり、講師陣と子どもたちとの関わりを通して、子どもたちは居場所を見つけていきます。

松原学院フリースクール・サポート校には佐藤先生をはじめとして、子どもの個性を大事にし、成長を促せる講師陣がいます。きっと松原学院で子どもたちは居場所を見つけ、成長できるはずですよ。また、塾のノウハウを生かし受験も目指せる指導や、私自身ECCジュニアの講師としても活躍していますので、英語会話を通じて海外の文化に触れさせることも出来ます。ぜひ、今悩まれている方は松原学院に来てみて下さい。お待ちしております。

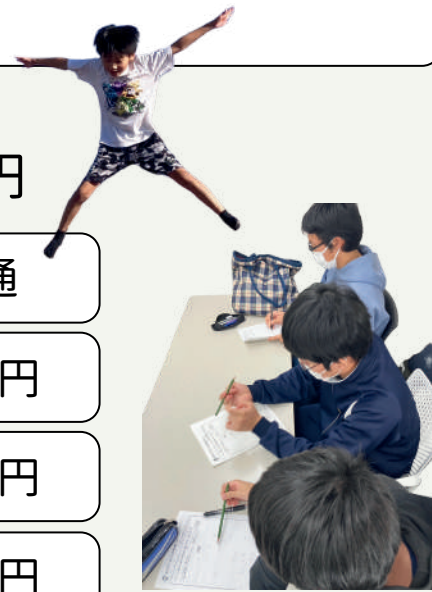
1日の流れ

9:50~10:00	電車やバス、自転車などを用いて登校
10:00~12:00	学習時間（宿題、検定学習、受験対策）
12:00~13:00	昼食・昼休み
14:00~14:50	レクリエーション、外遊びなど
14:50~15:00	帰宅準備～帰宅

利用料

入校料15,000円

利用料	小・中・高 共通
週1日登校コース	月々30,000円
週2～3日登校コース	月々35,000円
週4～5日登校コース	月々40,000円



小学部 ～よく遊び、よく学ぶ～

小学生での6年間は、最もからだの成長し、体力がついていきます。また、発想力が一番伸びるのも、社会性が身に付きやすいのも、この6年間です。この時期のお子さんは、学習と食事、運動のバランスが最も重要です。松原学院小学部では、午前中の学習の時間で、学習の基礎をしっかりと身に付けてもらいながら、午後の時間で適度な運動を取り入れ、体力の向上に取り組んでいきます。またコミュニケーション力が伸びるのも小学生時期であるため、中学部、高等部の生徒たちと多く話す機会を作り、語彙力、表現力の向上にも力を入れています。家だとどうしても運動不足になりやすいこの時期に、フリースクールの果たす役割はとて大きいものだと思います。毎日通うことで、生活リズムも安定し、体調を崩しにくくなるという利点も、フリースクールに小学生が通うことのメリットだといえるでしょう。



中学部 ～学び、考え、動き始める～

中学生での3年間は、頭と心と体のすべてが成長し、バランスを取ることが最も難しい時期だといえます。ですから、中学生の不登校が一番多くなります。松原学院フリースクールでは「対話」を大切にします。スタッフやフリースクールの仲間と話し、自分を知っていく、他者を知っていくことから、将来のことをぼんやりと思いつかせることができるようになります。進路に向け、知識面はスタッフが付きっきりで教えます。何の勉強をすればいいか？勉強のやり方はどうすればいいのか？どんどん聞いてくれば、何でも教えます。勉強に疲れてしまっている生徒には、安心して過ごせる居場所を提供します。急ぐ必要はありません。ゆっくりしたいときはゆっくりして、やりたくなったらやればよいと思います。そのやりたくなったときに全力でバックアップできるのが、松原学院中学部の役目だと思っています。学校の勉強や、入試のための勉強だけでなく、検定のための勉強が



松原学院の強みです。学校をお休みしている間に、英検、漢検、数検などたくさんの検定を取得することができるので、ぜひ挑戦してください。



高等部 ～自分で選び、未来を切り拓く～

高校生での3年間は、「人生で最も大切な3年間」といわれることがあります。それは、高校生の次の進路は、大学、専門学校、就職となり、それぞれでやる事が全く異なるからです。そして、このとき何を選ぶかによって、その先何十年に渡っておこなっていく仕事の内容や、生活のスタイルが大きく違って来るからです。松原学院高等部は「滝野川高等学院」との提携によって、「3年間で通信制高校の卒業ができる」という大きな強みがあります。日々の松原学院での学びと合わせて、年間10日程度、東京都内で「スクーリング」をおこない、卒業単位を取得していきます。そして、次の進路に向かっての受験勉強や就職活動を強力にサポートしていきます。小学部、中学部に引き続き、検定の取得を進めていけば、大学の総合型選抜でも有利になります。松原学院の進路指導は「ひとりひとりをていねいに、確実に次の進路に送り出すこと」です。数百人という生徒に対する進路指導とは大きく違い、その年の卒業生は数名程度、それをスタッフがていねいにサポートして



いくため、進路決定にとって、とても効率がよいことは間違いありません。また、通信制高校卒業に向けて多くの人が苦勞する「レポート」の作成も、教室での学習だけで完結します。3年間という長くあつという間の時間を松原学院高等部で学びませんか？



交流会 ～他のフリースクールとの交流会～

松原学院フリースクールでは、他のフリースクールとの交流を図っていきます。提携校である、

滝野川高等学院（東京都北区）には、小学生35人、中学生25人、高校生15人の生徒が在籍していて、たくさんのお子もたちとの交流が可能です。交流には、お菓子作りや、スポーツ、勉強会、合同の社会見学（マザー牧場や、劇団

四季の観劇など）、いずれは合同の宿泊体験なども企画していこうと考えています。色々なフリースクールとの交流によって、新しい友達ができることはもちろん、今まで気が付かなかった新しい自分との出会いがあるかもしれません。

また自然にコミュニケーション力がついていくため、いつの間にか人と関わるのが楽しくなってくると思います。

松原学院フリースクールの生徒たちが、より自分を成長させる機会が増えるように、滝野川高等学院と力を合わせて、これから、様々な企画を準備していきます。こちらから、相手のフリースクールに行くことも、相手のフリースクールに来てもらい、松原学院フリースクールの楽しさを知ってもらうことも両方おこなっていきます。



学校との連携

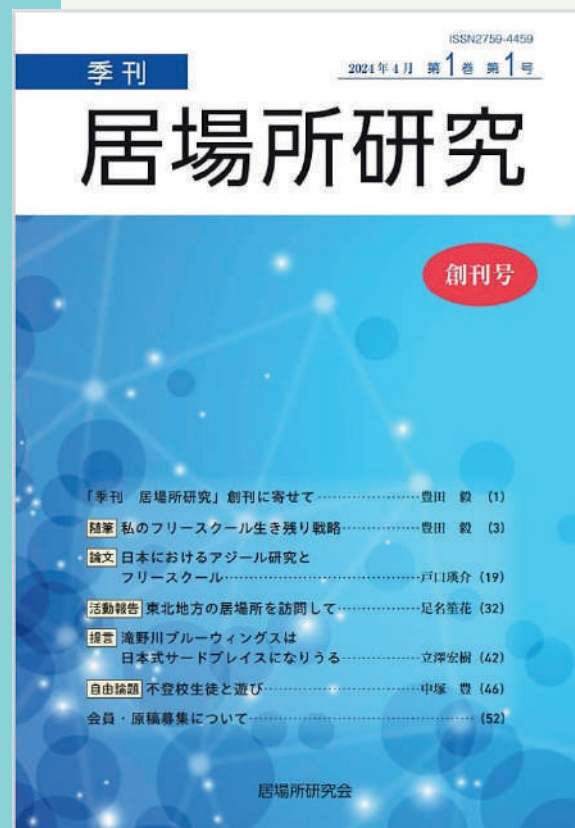
～フリースクールに通うことが出席扱いになる～

現在、全国的にフリースクールに出席することで、所属する小学校、中学校の出席に認定されるという動きが進んでいます。しかし、認定を受けるには毎月の出席報告や、学校との連携を図っていく必要があり、書類作成の手間などから、出席扱いになるための協力をおこなわないフリースクールもたくさんあります。

松原学院フリースクールでは、出席報告のための書類作成はもちろん、生徒の現状や進路についてのケース会議などへの参加も積極的におこなっていきます。そのため、ほぼ100%、出席扱いとして認定されます。

フリースクールは必ずしも、学校復帰を目指すための場所ではありません。最も大切なのは、子どもにとって安心できる居場所であることで、フリースクールは学校とはまた違った成長を期待できる教育施設です。そのため、希望されない方に対しては積極的な学校との連携をおこなうことはしません。しかし、高校進学のために出席認定が必要となってくる場合、いずれ学校復帰を目指している場合など、6割から8割の方は、出席認定を希望されるため、松原学院フリースクールとしては、保護者の方の希望をうかがい、出席認定にできるように所属学校との連携を図っていきます。

研究活動 ～最先端のフリースクールへ～



（『居場所研究』は年2～4回発行されます）

松原学院フリースクールでは、「居場所研究会」（本部・東京都北区）の会員として、雑誌『居場所研究』に論文を投稿するなど、研究活動をおこないます。居場所研究会では、研究発表やフリースクールスタッフの研修、論文の掲載など、活発に研究活動をおこなっており、松原学院フリースクールのスタッフも、会に参加し、不登校や、居場所に関する最新の情報を学び、それを生徒に対するサポートにいかしていこうと考えています。

現在、日本には700校ほどのフリースクールがありますが、それぞれが思い思いの方法で独自にスクール運営をしており、全体で集まる機会もありません。そのため、困ったときに相談する相手もいないという現状があります。松原学院フリースクールでは、会と連携して、最新のフリースクール事情や、指導法などを学習して、支援のスペシャリストとして、地域のお子もたちが安心して過ごせて成長できる場所を作っていきます。

保護者サポート

～保護者さんのお悩みや、心配事を相談できます～

フリースクールは、不登校の生徒の居場所として認知されていますが、保護者の方々にとっても居場所は必要で、悩みや心配事をお一人で抱えておられる方が多いことが知られています。また、お子さんはお家で二人きりで過ごしているうちに関係性が悪化したり、お子さんにつきっきりになる中で、ご自分の時間がなくなり、楽しいと思えることが少なくなったという声を聞くことも多くあります。

松原学院フリースクールでは、月に一度、保護者さんと面談をする時間を設定します。そのときにお子さんのフリースクールでの様子や学習の進捗をお伝えするとともに、保護者さんのお悩みや、お子さんについての心配事などをご相談できます。

また、日本教育カウンセラー協会 子育て支援委員会の委員の先生との連携が取れているため、外部のカウンセラーの先生に来ていただき、面談をしていただくことも可能です。その場合は特別価格にてご案内いたします。

「不登校親の会」との連携もありますので、ご希望の場合にはその旨をお伝えいただけますと、サポートのしっかりしている会へ、お繋ぎいたします。